資料１－６－２

北海道史構成案（2020.8.26）

北海学園大学経済学部　板垣　暁

【情報通信】

第１節　通信インフラの展開

1. 電電公社の発足

（日本電信電話公社北海道電気通信局『北海道の電信電話史』）

2. 電信・電話設備拡充計画（第１・第２次５ヵ年計画）

（日本電信電話公社北海道電気通信局『北海道の電信電話史』）※資料１

3. 市外通話の即時化（札幌―釧路間、札幌―東京間）

（日本電信電話公社札幌都市管理部『札幌の電信電話 80 年のあゆみ』）

4. データ専用ビルの完成

（日本電信電話公社札幌都市管理部『札幌の電信電話 80 年のあゆみ』）※資料２

5. ファックスの導入

（日本電信電話公社札幌都市管理部『札幌の電信電話 80 年のあゆみ』）

6. 携帯電話の始動

（エヌ・ティ・ティ・ドコモ北海道『北海道の携帯電話』）

7. テレトピア構想

（北海道電気通信監理局「北海道の情報通信」）

第２節　ラジオの時代からテレビの時代へ

8. GHQ による検閲

（日本放送協会『放送五十年史資料編』）※資料３

9. 民間放送の開始

（日本放送協会『放送五十年史資料』・北海道放送社史編集委員会『北海道放送十年』）
※資料４

10. テレビ放送網の拡大

（日本放送協会札幌放送局『札幌とともに半世紀』）

11. 競争の拡充

（日本放送協会『放送五十年史資料編』）※資料５

12. 新たな放送（衛星放送・CATV）

（北海道電気通信監理局「北海道の情報通信」）※資料６

第３節　新聞の展開

13. GHQ による検閲

（北海道新聞社『北海道新聞五十年史』）

14. 地方紙の勃興

（北海タイムス社『北海タイムス三十五年史』）

15. 全国紙の北海道進出

（北海道新聞社『北海道新聞五十年史』）

16. 総合化の取り組み

（北海道新聞社『北海道新聞五十年史』）

17. 不況時代の対応（経費節減・北海タイムスの廃刊）

（北海道新聞社『北海道新聞五十年史』・同『北の大地に刻む（北海道新聞 60 年史）』

※資料 7

第４節　IT 産業の展開（札幌バレー）

18. 北大マイコン研究会

（青木由直『私の中の歴史』）

19. マイコン研究会から生まれた企業（ハドソン）

（北海道情報産業史編集委員会『札幌バレーの誕生』）

19. 札幌テクノパーク

（札幌市企画調整局「札幌テクノパークの概要」）※資料 8

20. 札幌バレーの広がり（テクノパークから北ロソフト回廊へ）

（日本政策投資銀行北海道支店「サッポロバレー・コア・ネットワーク」）※資料 9

21. 札幌バレーの広がり（社系図）

（北海道情報産業史編集委員会『札幌バレーの誕生』）※資料 10